

地域課題・ニーズ

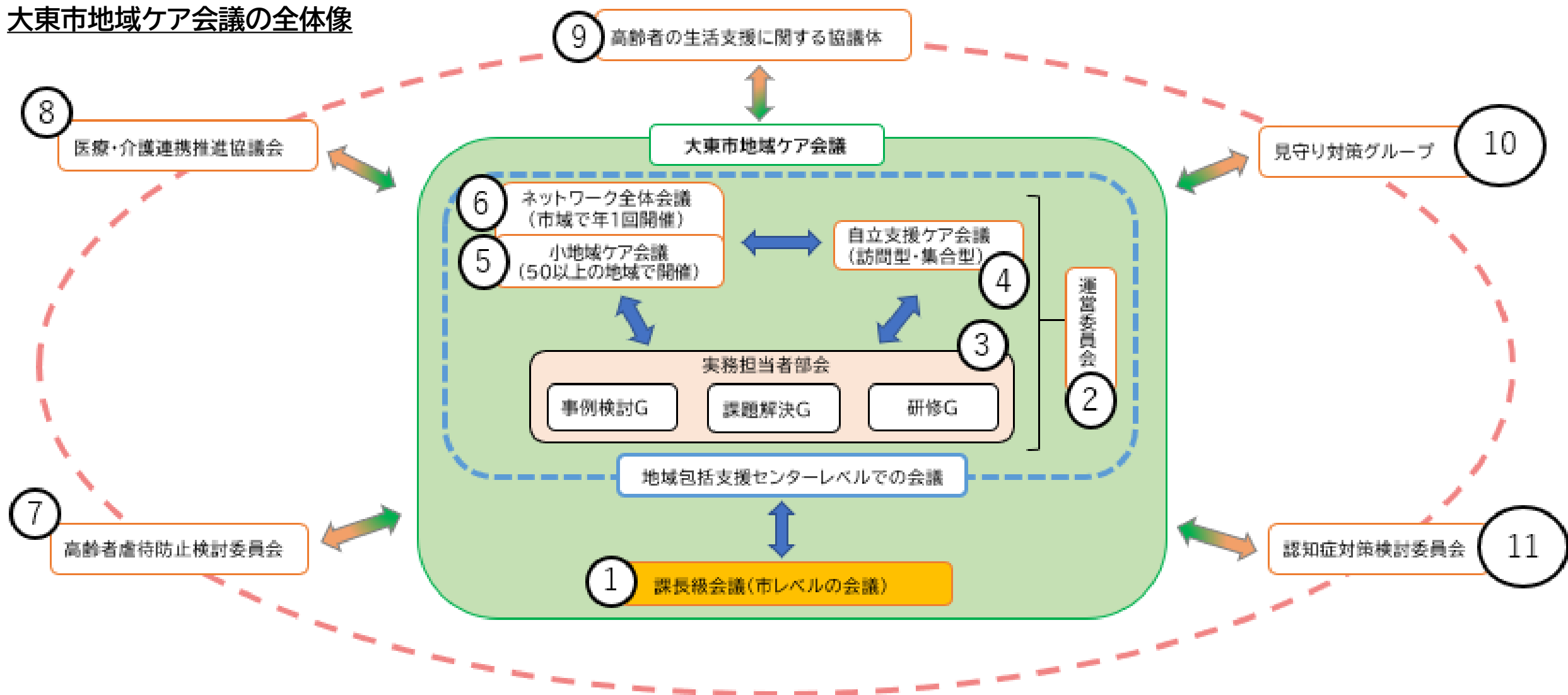
×

協議体

～連携事例のご紹介～

1. 地域ケア会議との連携

大東市地域ケア会議の全体像



大東市地域ケア会議は、①～⑥の会議体がネットワークとして機能することにより、フォーマル、インフォーマルを含めた取り組み等を生み出し、地域で問題となっている原因の緩和・解消を目指すシステムとして運用。

また、地域ケア会議は単体で機能しているのではなく、⑦～⑪の関連する会議体等とも連携し、相互に作用する体制で運用。

参考:大東市地域ケア会議の概要

会議体名称	内容
課長級会議(図①)	③の会議で検討した課題に対する解決策の承認や実行に向けた検討・決定を行う。他協議体、地域のネットワークに関する報告も実施。年1回開催。
運営委員会(図②)	2カ月1回開催。高齢・障害・母子・CSW・社協等の各分野の支援機関等が参加。図③～⑥の会議体に関する報告・共有を行い、運営について検討を行う。
実務担当者部会(図③)	月に1回開催。各分野の支援機関や企業、NPO法人等が参加。図③、④、⑤、⑥等から抽出された地域の問題における原因の緩和・解消を目的とした取組みの検討及び情報共有・支援機関のネットワークづくりを行う。
自立支援ケア会議(訪問型・集合型) (図④)	介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメント技術の向上を目的に、地域包括支援センターの主任介護支援専門員・リハビリ専門職が、介護支援専門員の担当する1プランにつき2回の訪問を通じてアドバイスを行う「訪問型」と、市域の介護支援専門員を対象に年2回開催する「集合型」がある。
小地域ケア会議(図⑤)	市域の細分化された50以上の地域で1カ月～3カ月に1回程度開催。民生委員・福祉委員・自治会長・区長・CSW等が参加し、個人単位の課題から地域全体の課題、資源等について幅広く協議を行う。
ネットワーク全体会議 (図⑥)	年に1回、民生委員・福祉委員・自治会・地域住民等を対象にした全体会議を開催し、市域で共通する課題や対策等について共有を行う。

地域ケア会議を通じて把握された地域の問題を共有

見守り

- ・独居高齢者の増加 ・孤独死 ・消費者被害や詐欺被害
- ・近所に相談できる人がいない ・自治会加入世帯の減少 など

通いの場

- ・認知症当事者が参加できる通いの場が少ない ・体操会場以外の通いの場がわからない
- ・世代を超えての交流の減少 ・徒歩圏内で通える場や活動が少ない地域がある など

生活

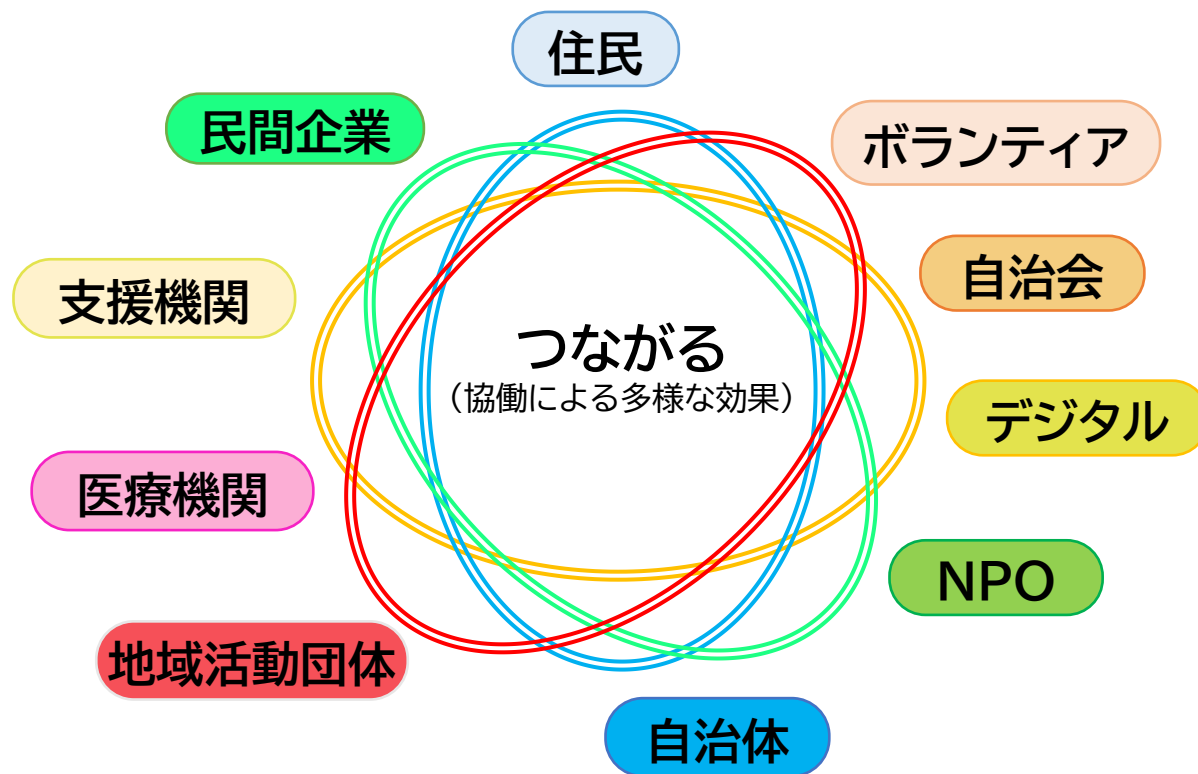
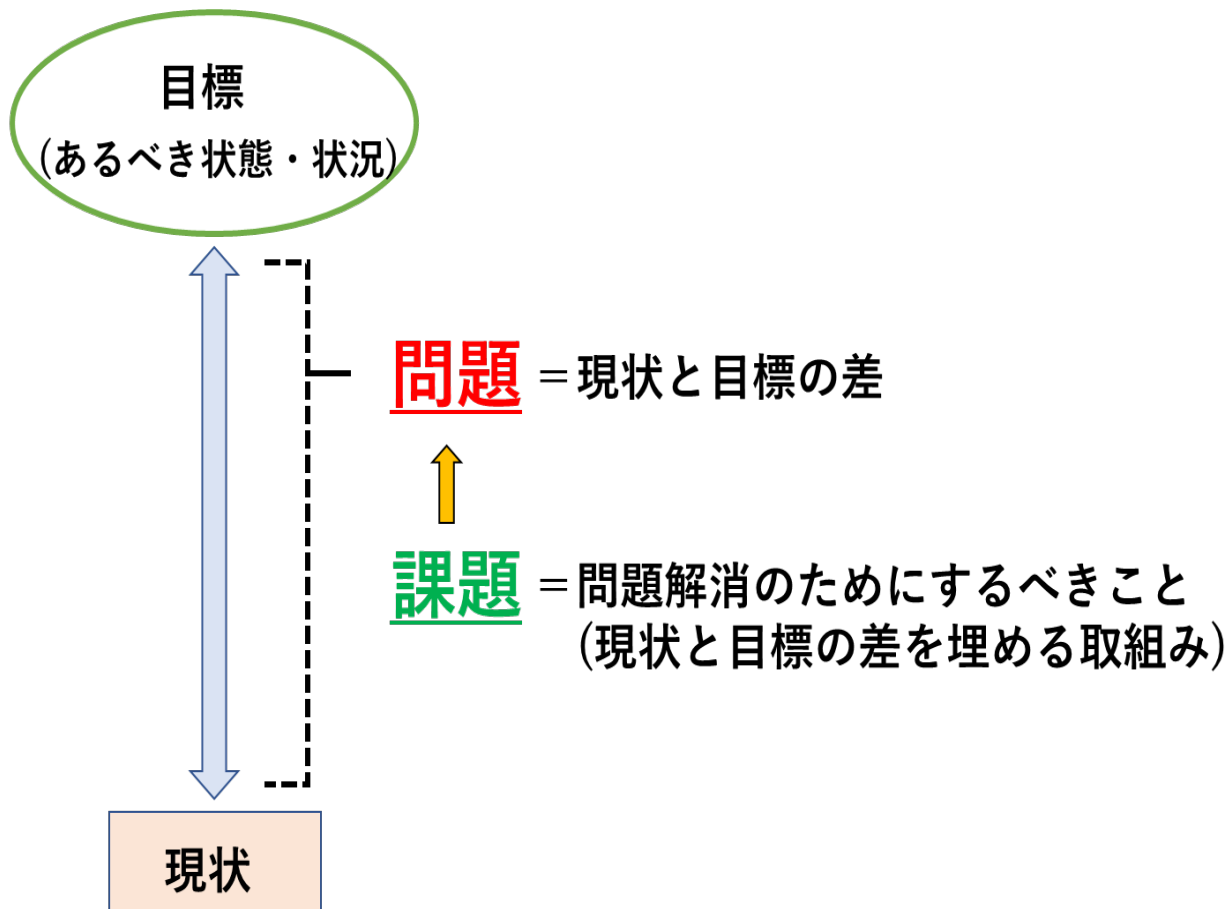
- ・空き家の増加 ・災害時の役割分担が不明瞭 ・病院に付き添ってもらえる人がいない
- ・タクシーの利用料金が高く、経済的負担が大きい ・交通手段の地域差 など

情報

- ・高齢者のスマホ所持率は高いが使い方がわからない高齢者が多い
- ・情報不足や地域住民とのつながりがなく介護者も孤独
- ・困りごとがあっても何もどこに聞いていいか判断できない など

地域問題を解消・緩和していくために

～地域ケア会議や協議体で共有しているイメージ～



2. 協議体の取組み

協議体における取組み立案に関する基本的な流れ

- ①: 地域の問題・ニーズの把握(地域ケア会議より)
- ②: 問題解決・ニーズ充足のために企業ができることを探る(課題)
(既存サービスの提供・場の提供・知識や情報の共有(講演等))
- ③: 生活支援サービスの企画(地域課題・ニーズ×企業サービス)
- ④: 生活支援サービスの実施

自社のサービス×他社のサービス
地域資源×自社のサービス
地域課題(ニーズ)×自社のサービス

生活支援コーディネーターが各段階においてサポート！

高齢者の生活支援に関する協議体 in大東市



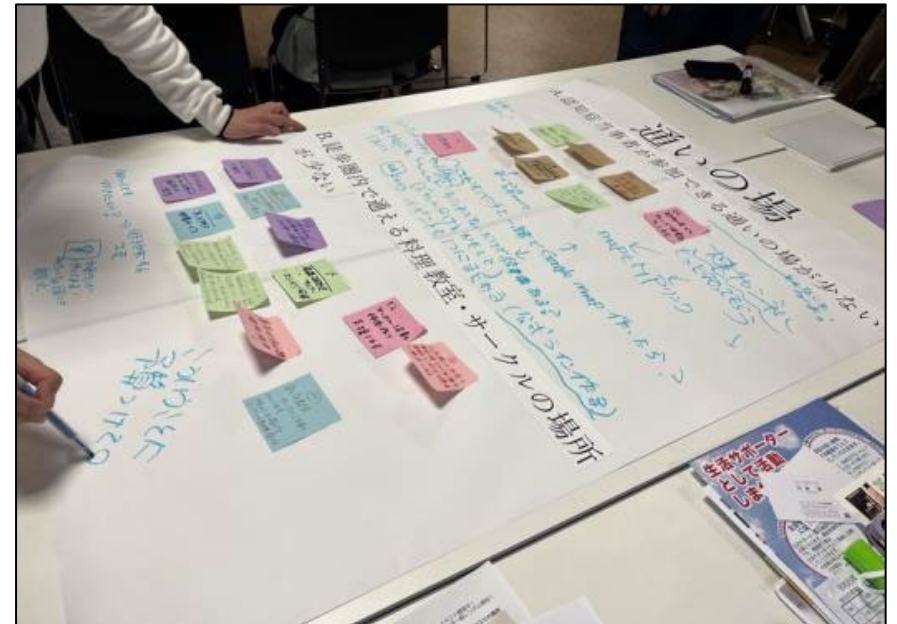
大東市内外で活躍する60以上の企業/団体/
個人事業主が集まり、高齢者の生活支援に関する
地域課題の解決策について考える。

模造紙にそれぞれの課題を大分類/小分類
に分け、その課題について「できること」
「あったらいいな」をそれぞれ付箋に書き、
貼っていく。



その後、グループワークとして課題についてディスカッションしながらビジネスマッチングをしていきました。グループワーク終了後は各グループ発表。そこで出た解決策を発表します。

協議体開催後も企業間の連携は継続



参加企業のメリット

- ①地域貢献による企業イメージの向上
- ②地域とのつながりの構築、集客
- ③市広報や様々な協議体等での広報のサポートあり
- ④地域のニーズを把握でき、自社サービスに還元できる など

3. 協議体や地域ケア会議との連携で生まれた取組み

- (1)スマイルウォーク！ダイトウ！
- (2)スマイルベンチプロジェクト
- (3)通いの場マップ
- (4)協議体の企業間連携①
- (5)協議体の企業間連携②

スマイルウォーク！ダイトウ！

シニア向け
スマイルウォーク！
オペラパーク館内を
気軽にウォーキング
ダイトウ！
毎週 月曜日 午前10時30分～11時30分
参加無料 要予約 (定員30名)

参加者には
おトクな
クーポン
プレゼント！

こんなお店が
あったんだ！
という発見も

**歩くことって
こんなに大切！**

ウォーキングを行う事で心肺機能が上がり、血行がよくなったり筋力低下を防ぎ骨が強くなります。また脳が活性化され認知症予防にも効果があります。

ショッピングセンターの中
なのでベンチや
自販機も豊富！
気軽に休憩が
できます

好きなときに休んで、自分のペースでOK！
ゆっくりコース と チャレンジコース 2コースをご用意
しております。難易度や体調に合わせてチョイス♪

運動不足になりがちな
暑い夏・寒い冬でも
館内なら快適に
楽しくウォーキング！

「どれだけ歩かか」ではなく「どう歩かか」が大事！
3か月に1回正しい歩き方をアドバイスします！

生活サポートセンター (NPO法人 住まいまもりたい)
大東市深野3丁目28番3号 Mail info@sumaisc.com 大東市生活サポートセンター
電話 072-812-6571 Fax 072-812-6572 電話受付の場合は月～全曜午前9時～午後5時



コスパの指導員からの歩き方教室後に、コスパが入るオペラパーク管内のコースをウォーキング



地域ケア会議を通じた住みやすいまちづくり

「**通いの場の活用と創設**」を目的としたワーキンググループ

- ・外出や他者と関わる機会の減少等が、身体・精神面が虚弱化していく悪循環の起点となるため、高齢者の外出・社会参加を高めることに着目。
- ・大東市には様々な通いの場がある。その活用を高める仕掛けを検討。

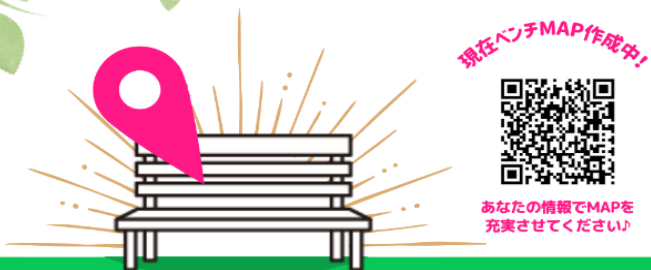


**スマイルベンチ
プロジェクト!** inダイトウ

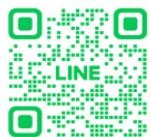
スマイルベンチプロジェクト

ベンチMAPをつくりませんか？

みなさんが知ってる既存のベンチを教えてください



スマイルベンチプロジェクトinダイトウを立ち上げるにあたり、大東市内でベンチがある場所の情報を教えてください



LINE送信ができない方は
info@sumaisc.comまで
メール下さい



LINEでカンタン共有!

ベンチのある場所を写真に撮って左記の二次元コードよりLINEで送信ください ※友だち登録お願いいたします

送っていただきたいもの

- 写真
- ベンチがあるところの住所
※わからなければ場所の特徴など
- 投稿者のお名前・連絡先

みなさまの情報をもとに「ちょこっと座っていただける場所」をマップに配置し、出かけたくなるまちづくり「スマイルベンチプロジェクト」を推進してまいります

スマイルベンチプロジェクトについては裏面をご覧ください

お申し込み・お問い合わせ

生活サポートセンター (NPO法人 住まいみまもりたい)

〒574-0072 大東市深野3-28-3 アクティブ・スクウェア・大東303号
TEL 072-812-6571 FAX 072-812-6572 E-mail info@sumaisc.com

※電話受付の時間は月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

スマイルベンチプロジェクト! inダイトウ

こんなまちを作りませんか

いつまでも自分の足で歩けるまち

長い道のりを歩くのが難しい高齢者や妊婦、障がい者の方が休憩できるベンチがあれば安心して外出ができます。「次のベンチまで頑張ろう!」と励みにも。

つながりのあるまち

ベンチが有ること、そこで憩う人たちのコミュニケーションも生まれ、さらに地域の防犯や見守りの効果も期待できます。

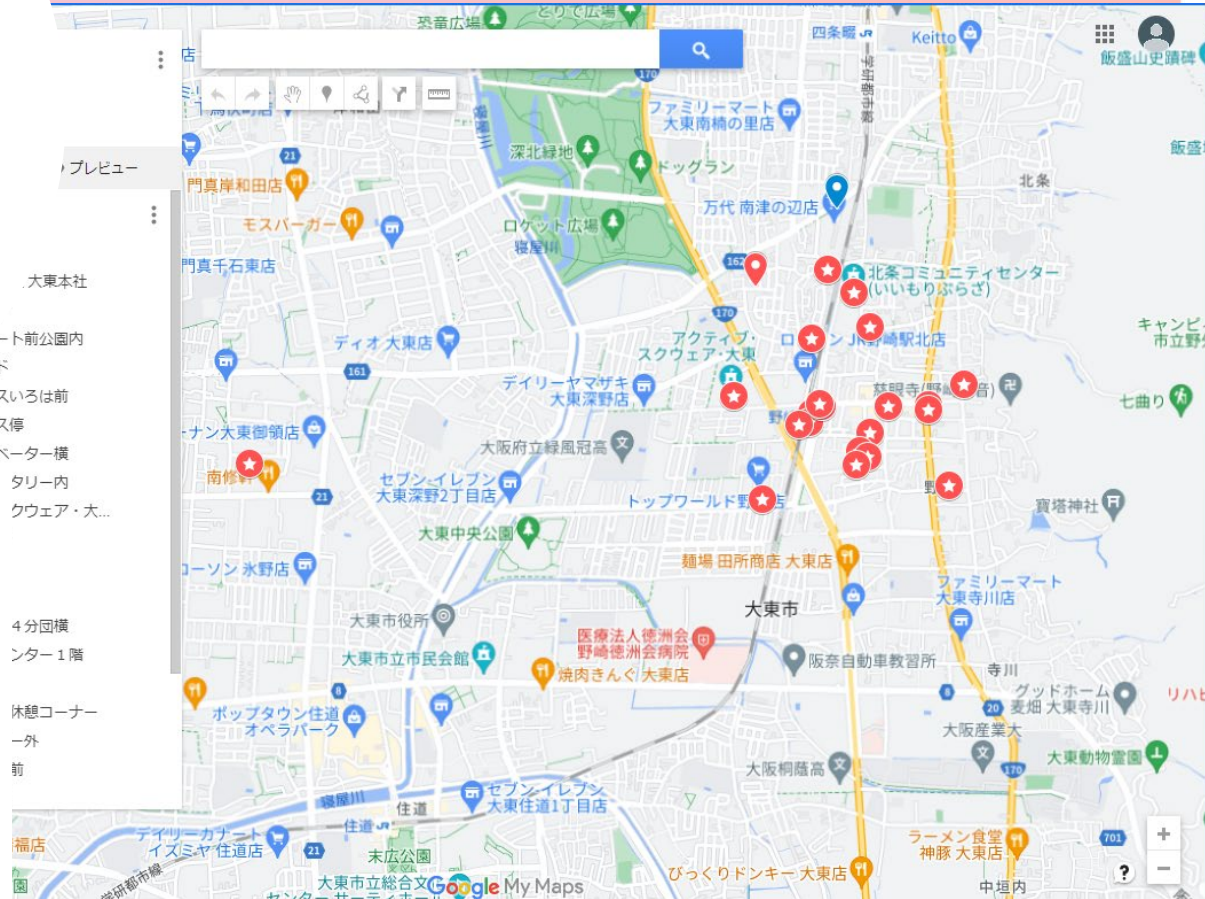
でかけたくなるまち

地域の住民やお店、企業の思いやりのベンチを置くことで、つながりや優しさにあふれたまちになります。いろんなベンチがあることで、「ここにもこんなベンチがある」と見つける楽しさが生まれます。

スマイルベンチプロジェクトは地域の住民、関係機関、お店、企業などが意見を出し合い協力してベンチを設置することで互いに絆を深め、住みやすいまちづくりを地域で取り組みます。



現在Google
マイマップにて
ベンチ情報を
追加中です！
ぜひご覧ください♪



協議体会議 では

ベンチマップ
のように
「**通いの場マップ**」
があったら
いいのでは

高齢者には
アナログ媒体も
必要！**印刷**して
見れるようにして
あげた方がいい

印刷したものは
施設のほかに
病院・薬局など
高齢者が立ち寄る
場所に置くのも

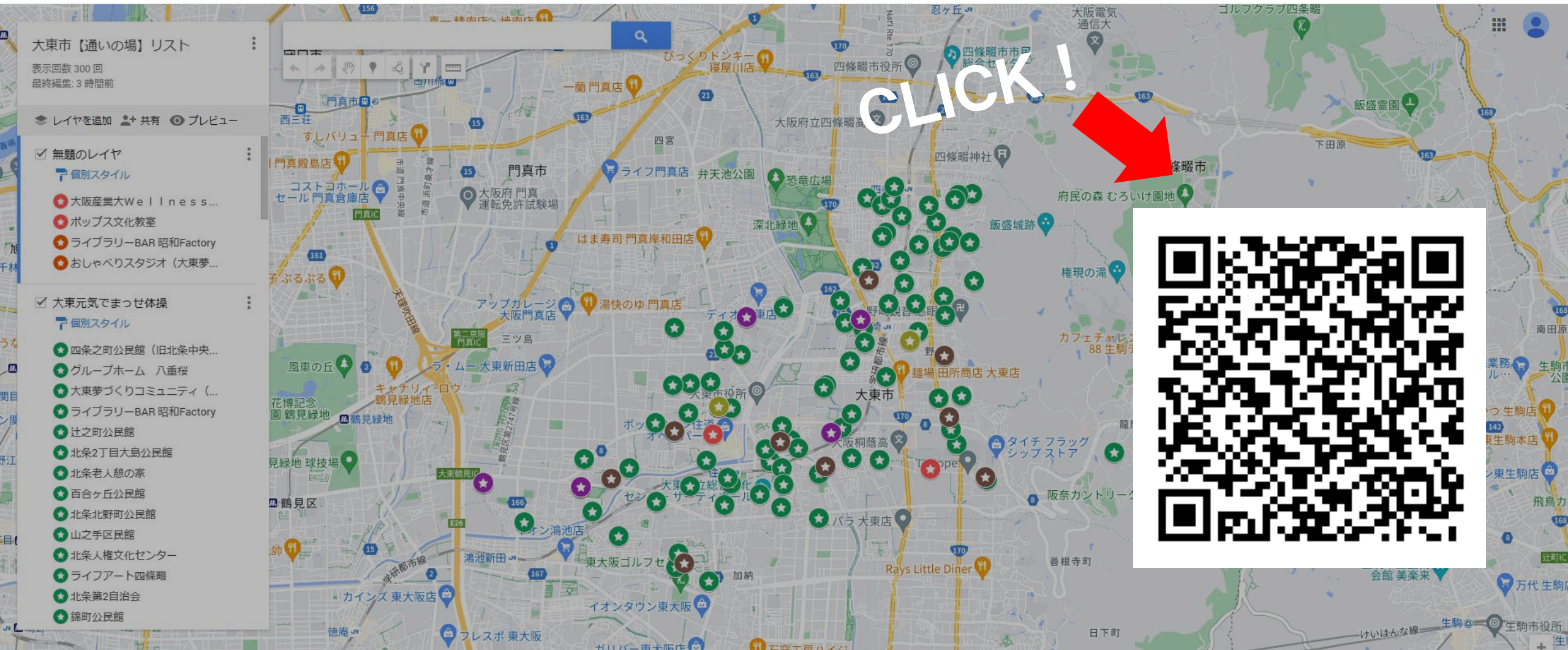
雰囲気わかる
写真が入って
いると行き
やすいかな



という
ことで...

早速作成
いたしました

通いの場MAP



見守りLINE



くらしの味方LINE



大東市の生活情報をお届け！

くらしの味方LINE

目的 大東市にお住まいの高齢者に

①地域のお得情報を配信することで、**外出の機会を増やして健康促進**につなげること

②日常の困りごとを、LINEで地域の適切な専門家を探し、相談できることで、**詐欺被害の防止**につなげること

大東市の生活情報をお届け!
くらしの味方LINE

<p>リンカー一覧 公共機関HPなど</p>	<p>くらしの便利帳 「困った」の解決策を探せる</p>	<p>おでかけ情報 近隣イベントなど</p>
----------------------------	----------------------------------	----------------------------

ちょっと困った解決策を
自分で探す
居心地良い場所と人を見つかる

くらしの便利帳

<p>【大東市 (072)】 アトス福祉・介護タクシー ストレッチャー及び医療機器 等取扱。車椅子のままご乗車 複数台で対応/名まで同乗可 摂津市編崎下3-32-6 (072) 658-7677</p>	<p>【守口市 (06)】 ウェルケア館 ハートフルフローバー薬局 メディオムクリニック ライフマーク守口</p>	<p>【守口市 (06)】 介護老人福祉施設 アトス福祉・介護タクシー ストレッチャー及び医療機器 等取扱。車椅子のままご乗車 複数台で対応/名まで同乗可 摂津市編崎下3-32-6 (072) 658-7677</p>	<p>【守口市 (06)】 介護老人福祉施設 アトス福祉・介護タクシー ストレッチャー及び医療機器 等取扱。車椅子のままご乗車 複数台で対応/名まで同乗可 摂津市編崎下3-32-6 (072) 658-7677</p>
<p>【大東市 (072)】 介護用品・福祉用具 コーペビエール 国生堂薬局 福祉用具の修理</p>	<p>【守口市 (06)】 介護老人保健施設 パークヒルズ大田原 遠く舎 介護老人保健施設電気の道 介護老人保健施設協栄生 在宅介護支援センター</p>	<p>【守口市 (06)】 介護老人福祉施設 アトス福祉・介護タクシー ストレッチャー及び医療機器 等取扱。車椅子のままご乗車 複数台で対応/名まで同乗可 摂津市編崎下3-32-6 (072) 658-7677</p>	<p>【守口市 (06)】 介護老人福祉施設 アトス福祉・介護タクシー ストレッチャー及び医療機器 等取扱。車椅子のままご乗車 複数台で対応/名まで同乗可 摂津市編崎下3-32-6 (072) 658-7677</p>

2024.10
職業別 2024.10~2026.3
(掲載情報は2024.6.1現在)

NTT
西日本

タウンページ

大阪府北河内南部版
門真市・四條畷市・大東市・守口市

23
「介護」介護サービス施設 / 介護老人保健施設 / 海産物 / 化学繊維

協議体企業間の連携事例①: デジタルディバイド解消



アカカベ


スマホ講座の一環で、アカカベのアプリの利用方法(アカウント・クーポンの取得など)についてサポートを実施。他に健康体操や、お弁当つきの講座などセットで開催。

地域つながりサポート (スマホ等の講師を実施)



藤本産業株式会社

藤本産業株式会社さん主催のグランドゴルフ大会終了後にスマホ相談会を実施



ニコニコキッチン大東店

スマホ講座開催後にニコニコキッチン大東店が試食会を開催



協議体企業間の連携②:通いの場と介護予防

大東市地域包括支援センター



大東夢づくりコミュニティ
(地域づくりに関して多岐に取り組むNPO法人)

毎週木曜10:30~11:30にを大東夢づくりコミュニティ(おしゃスタ)で介護予防に効果的な大東元気出まっせ体操を実施。
イベント内でTomoko氏によるハープ演奏会や体験会も。



協議体企業間の連携③:多様な趣味活動

野崎徳洲会メディカルフィットネスAwai

(医学的サポートのあるフィットネスジム)



訪問美容師カジマリ

Awaiにて『頑張らないヨガとパン作り×ネイル&ハンドケア』を開催。カジマリがハンドマッサージやワンカラーネイルのサービスを提供。

美容サロンに行けなくても、手元を美しく
Awaiでハンドケア

9/7(日)
13:00~15:30



どなたでもご参加いただけます○

場所: メディカルフィットネスAwai

メニュー

- ①ワンカラーネイル(手or足) 2,200円(30分)
- ②ヘッドマッサージ 1,320円(10分)
- ③ハンドマッサージ 550円(5分)

申込方法: お電話またはAwai受付にて
受付期間: 7月21日(月)13時~9月5日(金)13時まで
定員: 先着順

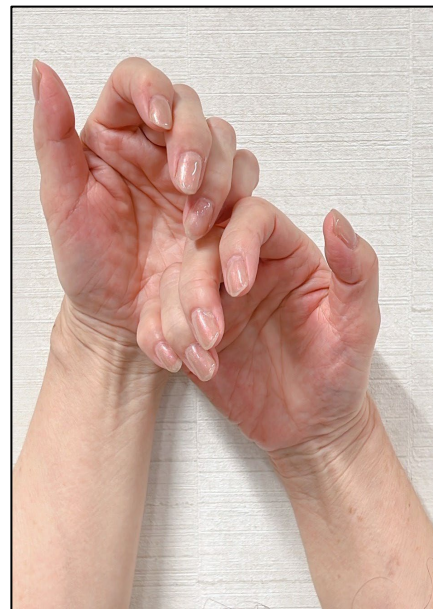


訪問美容師 KAJIMARI

申込期間: 7/21(月)13時~9/5(金)13時まで

事前申込が必須 **072-399-5227**

メディカルフィットネスAwai 担当者: 藤田佳世、板矢悠佑
☎072-399-5227



令和8年2月10日（火）

地域づくり加速化事業ブロック別研修

彦根市における 住民参画・官民連携事業について

社会福祉法人彦根市社会福祉協議会

地域支援課 野瀬純一

本日の内容 >>>

- ◆住民参画・官民連携推進事業を進めてきた経緯
- ◆彦根市における住民参画・官民連携推進事業の概要
 1. 平時における安否確認
 2. 移動外出支援
 3. 住民同士の助け合い・支え合い



<参考>

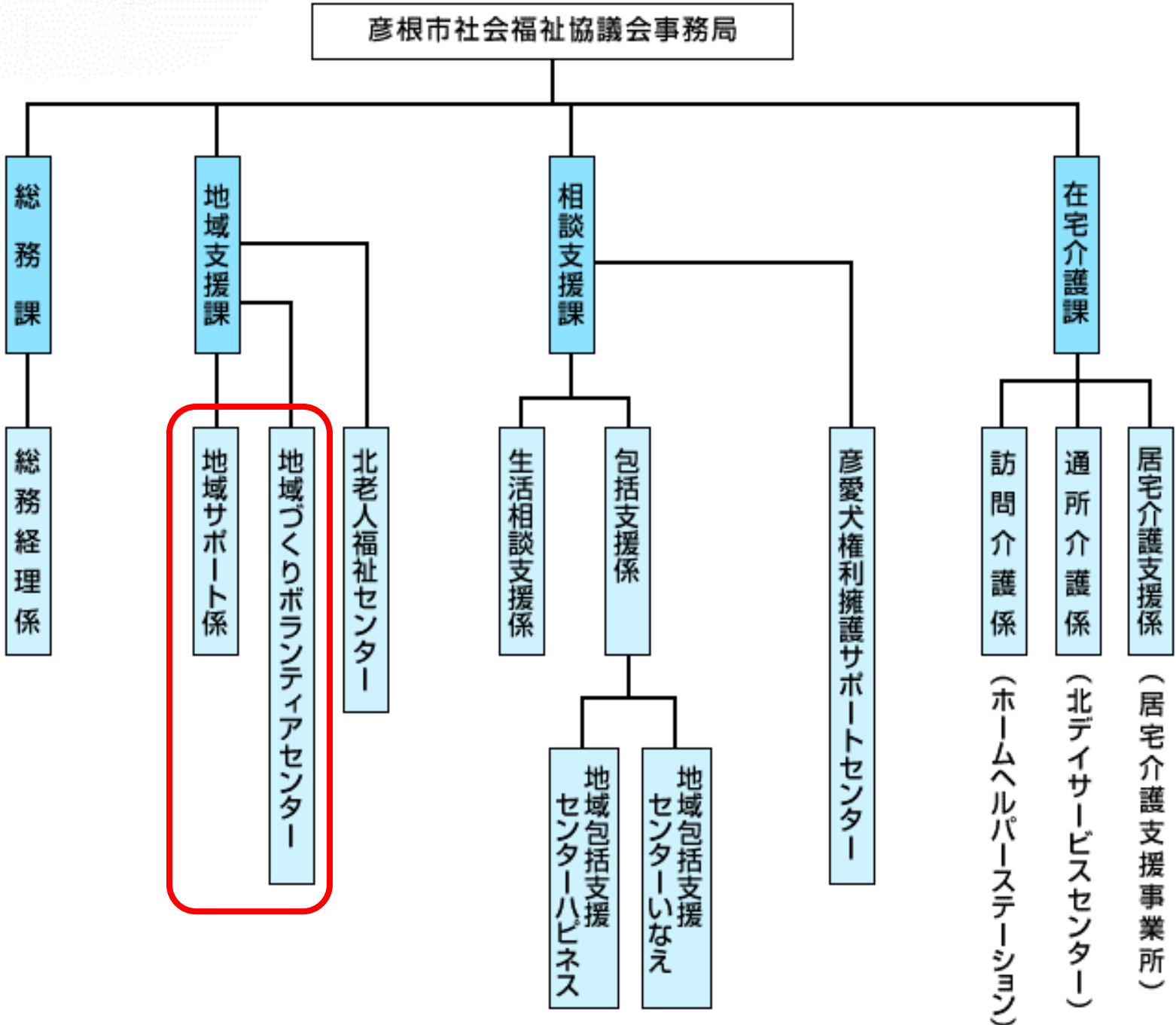
彦根市社協の体制

彦根市社協事務局は

- ◆総務課
- ◆在宅介護課
- ◆相談支援課
- ◆地域支援課

の4課で構成

生活支援体制整備事業
は地域支援課が受託



◆住民参画・官民連携を進めてきた経緯

●生活支援(暮らしのちょっとした困りごと解決)

にかかると検討会議の開催(年4回)

【委員構成団体】

住民互助による生活支援団体、シルバー人材センター、生活協同組合、市内学生による起業団体、地域包括C、第2層推進員、市高齢福祉推進課

◆住民参画・官民連携を進めてきた経緯

●生活支援(暮らしのちょっとした困りごと解決)

にかかると検討会議にて

1)実態調査(アンケート)の実施

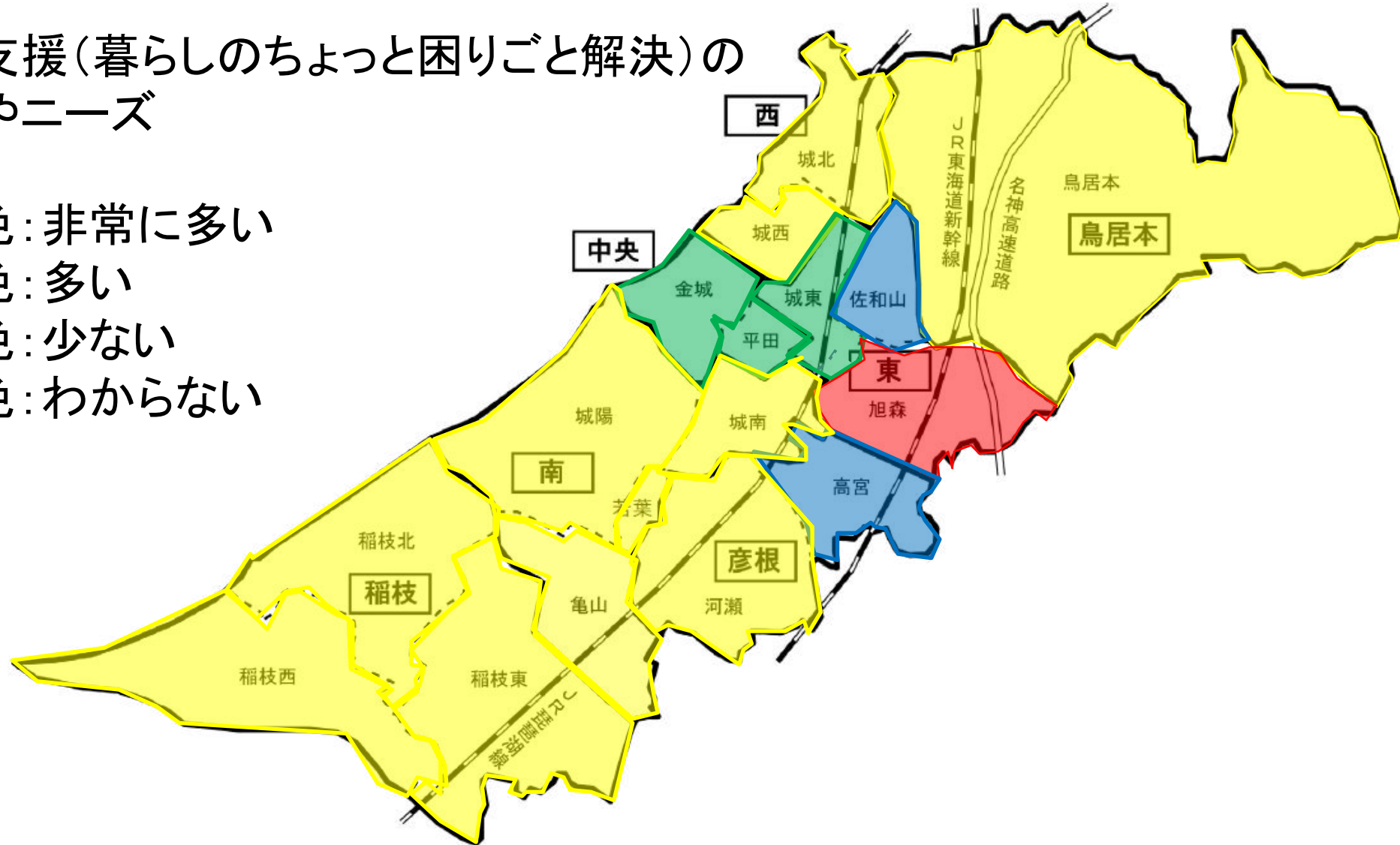
→ 市内各学区区域における生活支援ニーズの現状と

今後の見通しを一覧化(= 地域×包括×社協)

地域包括支援センター調査分／個別の相談支援において

生活支援(暮らしのちょっと困りごと解決)の
課題やニーズ

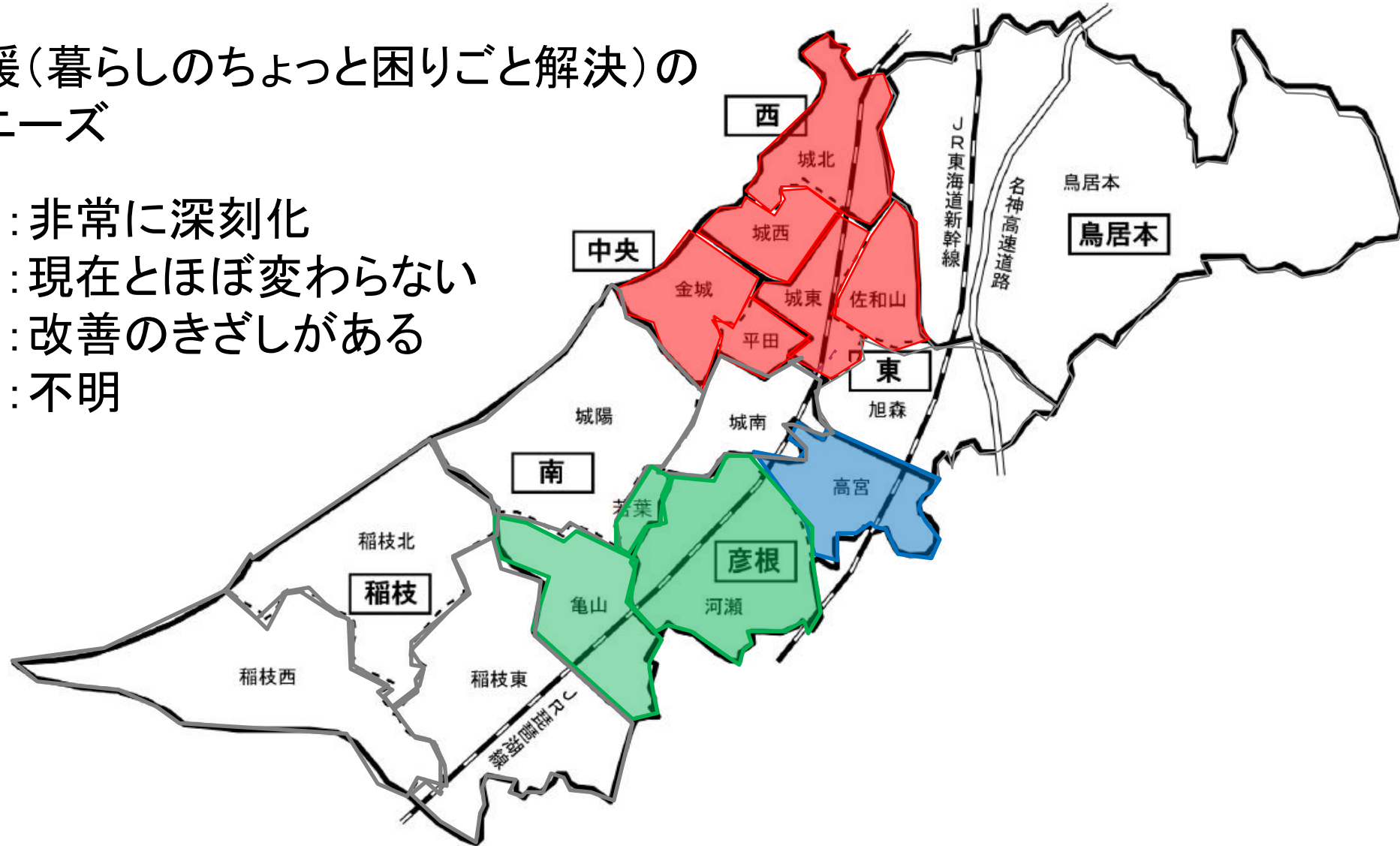
- 赤色:非常に多い
- 黄色:多い
- 緑色:少ない
- 青色:わからない



地域包括支援センター調査分／5年後・10年後の見通し

生活支援(暮らしのちょっと困りごと解決)の
課題やニーズ

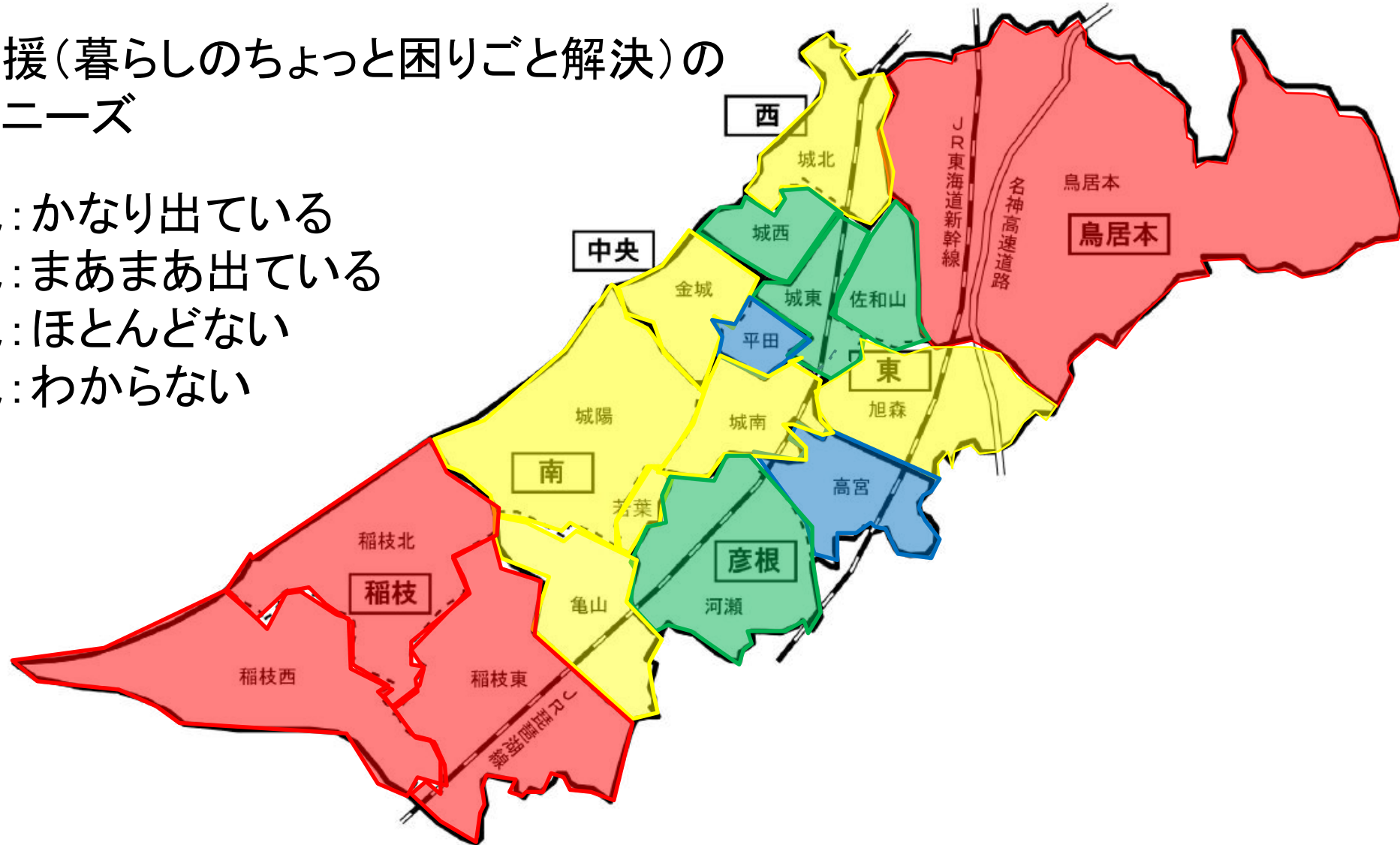
- 赤色: 非常に深刻化
- 無色: 現在とほぼ変わらない
- 緑色: 改善のきざしがある
- 青色: 不明



第2層地域支え合い推進員調査分／地域での会議等において

生活支援(暮らしのちょっと困りごと解決)の
課題やニーズ

- 赤色: かなり出ている
- 黄色: まあまあ出ている
- 緑色: ほとんどない
- 青色: わからない



第2層地域支え合い推進員調査分／5年後・10年後の見通し

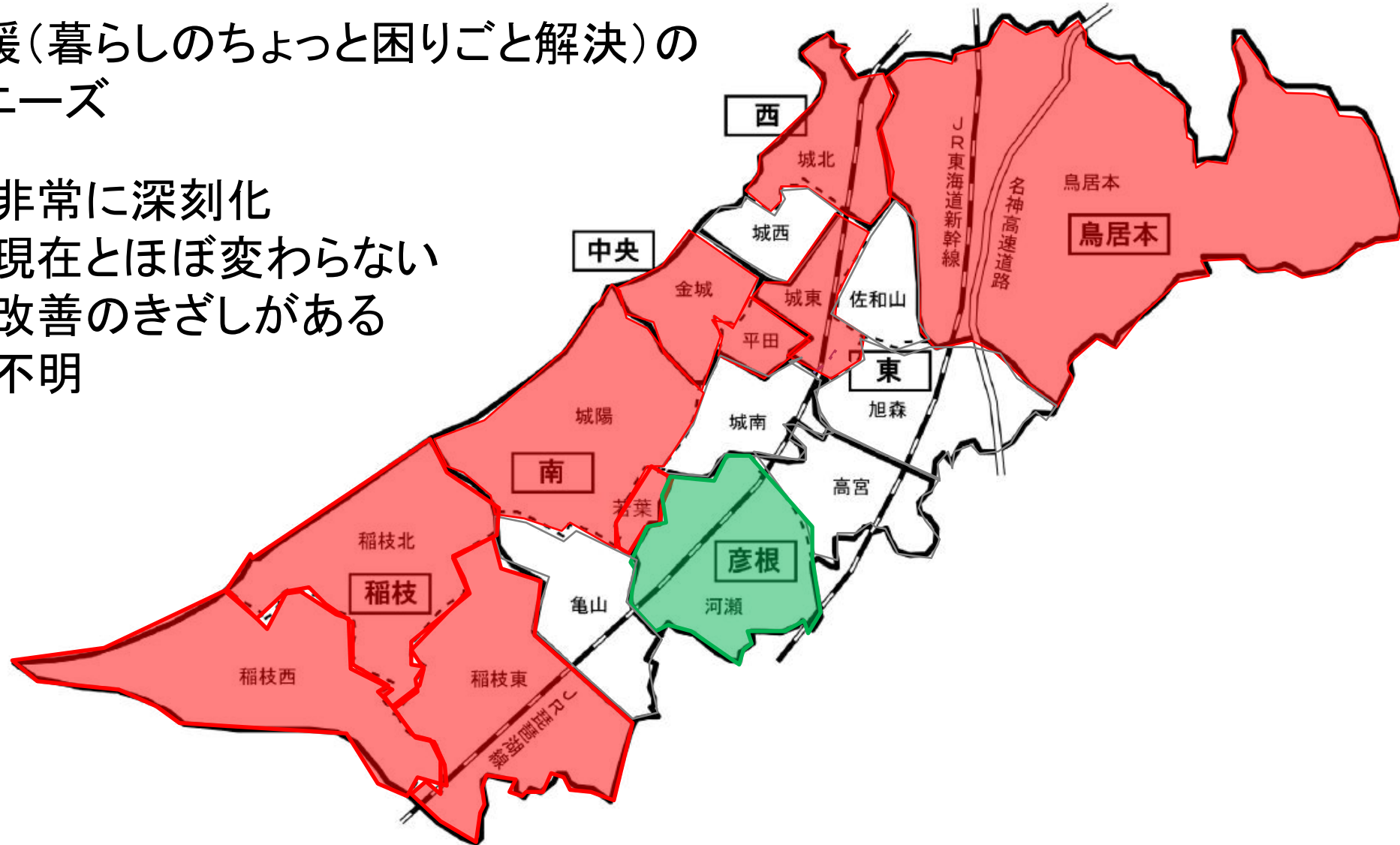
生活支援(暮らしのちょっと困りごと解決)の
課題やニーズ

赤色:非常に深刻化

無色:現在とほぼ変わらない

緑色:改善のきざしがある

青色:不明



◆住民参画・官民連携を進めてきた経緯

●生活支援(暮らしのちょっとした困りごと解決)

にかかると検討会議にて

2)取組や事業のモデル実践&実証

・生活支援サービスの住民向け

出前講座の開催

(= コープしが×自治会)



◆住民参画・官民連携を進めてきた経緯

●生活支援(暮らしのちょっとした困りごと解決)

にかかると検討会議にて

2)取組や事業のモデル実践&実証

・困りごとのマッチングアプリ開発に向けた協議

(= 滋賀県立大学生×社協)

◆住民参画・官民連携を進めてきた経緯

●生活支援(暮らしのちょっとした困りごとと解決)

にかかると検討会議にて

2)取組や事業のモデル実践&実証

- ・困りごとのある人とサービスをつなぐ仕組みの検討

(= 包括×シルバー人材センター×社協)

◆住民参画・官民連携を進めてきた経緯

住みよいまちづくりを進めるうえで

優先的に取り組む「3つの検討課題」を抽出

1. 平時における安否確認

2. 移動外出支援

3. 住民同士の助け合い・支え合い

⇒ これらにかかる取組を進めていくこととなる

◆彦根市における住民参画・官民連携事業

1. 「平時における安否確認」にかかる取組

地域と専門職による見守りのしくみの構築を進める

(= 民児協×包括×ケアマネ事業所×社協×市)

⇒ モデル学区での「ひこね見守り台帳ネットワーク」

の取組実施

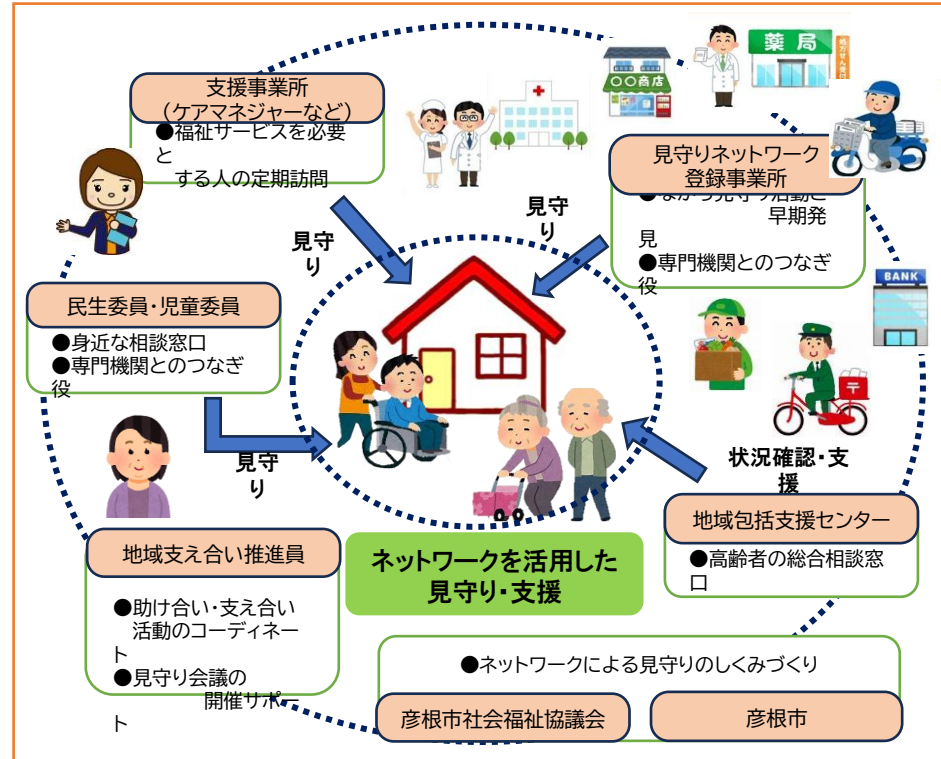


ひこね見守りネットワーク台帳

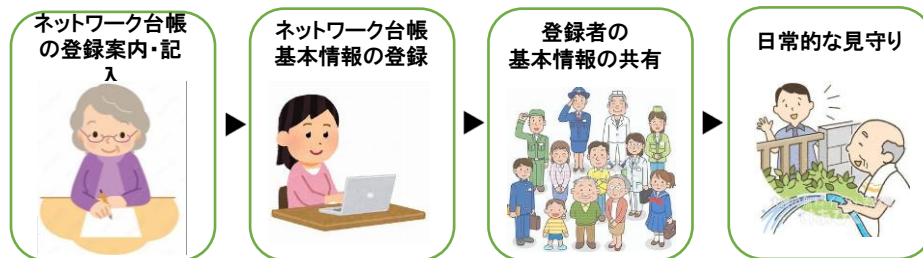
～地域での見守りネットワークのために～

ひこね見守りネットワーク台帳は、在宅で生活する高齢者等が、地域で安心して生活を続けるため、地域の民生委員やケアマネ等の支援事業所、地域包括支援センター、見守りネットワーク登録事業所などの支援者・機関が連携して、必要な見守りや援助を行う「ネットワークを活用した見守り・支援」のためのネットワークです。

令和6年度
平田学区で
モデル実施★



《登録の流れ》



ひこね見守りネットワーク台帳

登録のお願い

- 1 ひこね見守りネットワーク台帳は・・・
あなたを、日常的に見守り、緊急時での助け合いのために、必要な情報を登録していただくものです。
- 2 登録対象となる方は・・・
70歳以上の方や障がいをお持ちの方ですが、それ以外の方でも継続的な見守りを必要とされる方は登録できます。
- 3 記録内容の控えは・・・
民生委員、支援事業所（ケアマネ）、地域包括支援センター、見守りネットワーク登録事業所、彦根市社会福祉協議会が保持し、個人情報として厳重に管理します。
- 4 もしもの時は・・・
緊急時に対応する事案が生じた時は、登録されている緊急連絡先等に連絡することがあります。
- 5 特に重要な事項は、緊急連絡先です。
いざという時のために、必ずご記入をお願いします。



～ネットワーク台帳への登録は、地域での助け合いのきっかけづくりです～

〈お問合せ先〉 社会福祉法人彦根市社会福祉協議会

担当 山本・平野・森 電話番号 0749-22-2821

◆彦根市における住民参画・官民連携事業

2. 移動外出支援にかかる取組

学区域での「助け合い・支え合いフォーラム」開催

(= 地域×NPO×活動団体)

→ 市域での「助け合い活動者交流会」開催へ

(= 活動団体×NPO×社協)



◆彦根市における住民参画・官民連携事業

2. 移動外出支援にかかる取組

送迎ボランティア養成講座・安全運転講習の開催

※地域における送迎支援の担い手の発掘 & 養成

(= 関西STS連絡会 × 地域 × 活動団体 × 社協)



◆彦根市における住民参画・官民連携事業

2. 移動外出支援にかかるとる取組

送迎ボランティア養成講座・安全運転講習の開催

※R7は滋賀日産自動車(株)・東京海上日動を講師役に
実施した

(= 企業×地域×活動団体×社協)



◆彦根市における住民参画・官民連携事業

2. 移動外出支援にかかる取組

社会福祉法人の人材・車両を活用した

「彦根おでかけサポート事業(仮)」の検討・実施

(= 法人×地域×社協)

※R5:一部地区でモデル的に開始

R7:別の地区でもモデル的に開始



彦根おでかけサポート事業

ふるさと号で
おでかけしよう♪

1/29 (木) 2/24 (火) 3/23 (月)

行き先: **ピハシティ彦根** 利用料: **おひとり200円**
(おソソソ)

各停留所で乗り合わせて一緒にお出かけしよう♪
約1時間、お買い物や散歩を楽しむことができます。

ルート: 9時40分 大原町集合所 → 9時45分 白旗寺バス停留所 → 9時50分 セブアイレジック → 10時00分 ピハシティ彦根

地域サポート窓口 (担当:) 参加希望の方は、
近江ふるさと会のマイクロバスで送迎します 月 日までに
ご連絡ください。 ご連絡ください。

・万一の事故にも対応できます (保険加入)

社会福祉法人 近江ふるさと会・大原町・八坂北町

◆彦根市における住民参画・官民連携事業

3. 住民同士の助け合い・支え合いにかかるとる取組

住民互助による生活支援の取組のネットワーク構築

活動一覧を作成、包括やケアマネと情報を共有

(= 包括×ケアマネ×社協)

助け合い活動ネットワーク おたすけ“ひこねっと”発足

(= 活動団体×社協)

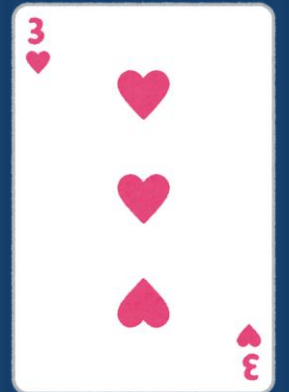
◆彦根市における住民参画・官民連携事業

3. 住民同士の助け合い・支え合いにかかる取組

助け合い活動ネットワークおたすけ“ひこねっと”

R7:「担い手づくり」をキーワードに3つのテーマが出る

- ⇒
- ①現役世代(60歳以下)への働きかけ
 - ②地域ではたらく仕組みを考える
 - ③ひこねっとから魅力発信



◆彦根市における住民参画・官民連携事業

3. 住民同士の助け合い・支え合いにかかる取組

R7おたすけ“ひこねっと”の活動

「地域ではたらく仕組みを考える」一環として

9/3「地域で『はたらく』を考える基礎講座」開催

→ さまざまな「はたらく」形への広がりへ

◆彦根市における住民参画・官民連携事業

3. 住民同士の助け合い・支え合いにかかる取組

R7おたすけ“ひこねっと”の活動

魅力発信のために…「ひこねっと通信」発行へ

(= 地域×市民団体×社協)

→ 興味関心を引けるよう市民目線で発信



◆彦根市における住民参画・官民連携事業

③住民同士の助け合い・支え合いにかかるとる取組

既存の社会資源の可視化と情報の信頼性の向上

⇒ 民間サービスや住民互助活動を含む「家事支援」

「移動支援」「生活支援」等にかかるとるサービスの

情報を収集・整理（「暮らしのおたすけ情報誌」）

（＝ 民間サービス事業者×活動団体×社協×市）